

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	124110	市民参画・協働推進事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-2	参画・協働のまちづくり			
	施策	1	市政への参画・協働機会の充実			
目的	市政への参画・協働の機会を提供する					
対象	市内に居住する者、市内で働く者、学ぶ者、活動する者及び市内で事業を営む者					
意図	市民が積極的に市政に関わることができるよう市政への参画・協働の機会を拡充する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○市政への市民参画ガイドラインの運用及び検証 市民参画・協働推進委員会の開催 職員チーム会議の開催 参画の予定や結果、参画ガイドラインの周知 ○市民と市との協働指針の運用 協働指針の周知による協働に対する考え方・認識の共有 ○広聴の実施 市政懇談会、まちづくり懇談会、市長との対話の実施 要望・陳情の受付、市長へのはがき・メールの受付						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 参画予定・結果・ガイドライン等をホームページ等で周知した回数		回	計画	6	6	
			実績	4	5	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 市政への意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合【市民アンケート】		%	目標	35.0	40.0	
			実績	41.2	44.8	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市民参画ガイドラインに基づき市民参画の実施予定や実施結果の公表を行うことにより、市民に対し参画機会の周知を図っていることから成果指標の実績値が徐々に伸びていると考えられる。また、市政懇談会に加え、定期的に市長との対話を実施していることも成果指標の目標値を達成できた要因と考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民の参画・協働によるまちづくりを推進するため、公共が関与するのは妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="radio"/> 見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	職員や市民へ市民参画ガイドラインや協働指針の十分な周知を図ることで、成果の向上が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、市民参画・協働推進委員会委員の報酬と必要最小限の事務経費であり、削減の余地はない。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民参画・協働に関する事業は、すべての市民が対象であるため受益機会と費用負担に不公平はない。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
本事業は、花巻市まちづくり基本条例に基づき市民参画と協働の具体的実施手順を定めた「市政への市民参画ガイドライン」及び「市民と市との協働指針」を適正に運用するため、市全体での取り組みを総括する事業である。さらなる市政への参画・協働を進めるためには、市政への市民参画の評価と仕組みの検証を行うとともに、職員及び市民へ参画と協働の考え方の浸透を図るための啓発・情報提供を行うことが引き続き必要である。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 地域振興部 課名 地域づくり課 担当係長 上山 亜貴 内線 457

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	124110	市民参画・協働推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		247	265		18
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	247	265		18

※特定財源の内訳

--

事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標
参画・協働機会の拡充

事業開始の背景・経緯
総合計画に掲げる理念「市民参画・協働のまちづくり」を具体化するために平成20年に制定した「花巻市まちづくり基本条例」に基づき、参画と協働による市民主体のまちづくりの一層の推進を図るための事業を実施している。

事業概要

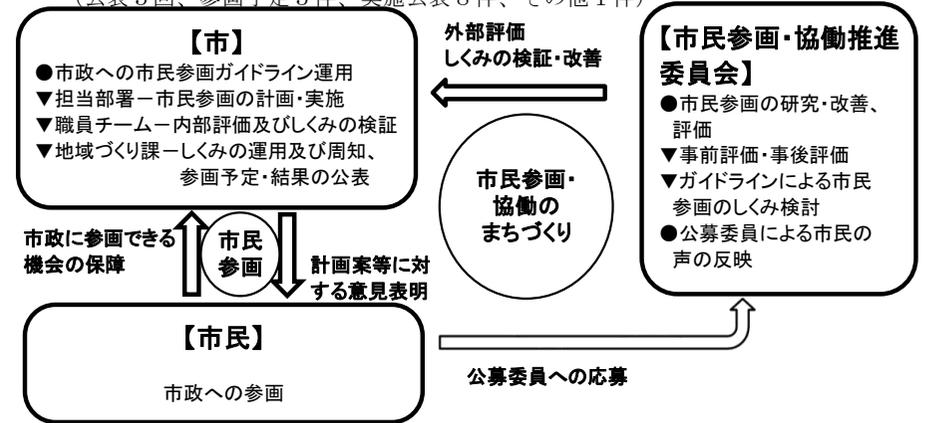
- 市政への市民参画ガイドラインの運用及び検証
市民参画・協働推進委員会の開催
職員チーム会議の開催
参画の予定や結果、参画ガイドラインの周知
- 市民と市との協働指針の運用
協働指針の周知による協働に対する考え方・認識の共有
- 広聴の実施
市政懇談会、まちづくり懇談会、市長との対話の実施
要望・陳情の受付、市長へのはがき・メールの受付

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

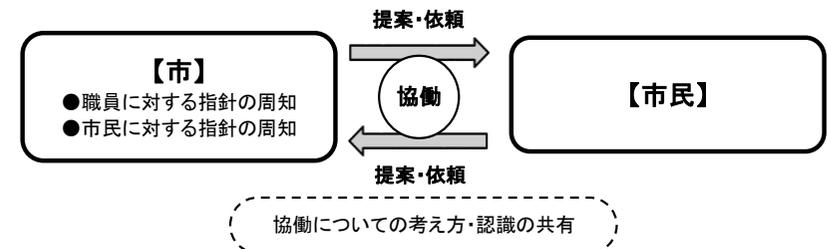
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1 市政への市民参画ガイドラインの運用及び検証 168千円

(内訳)市民参画・推進推進委員報酬4,000円×42人(のべ数)
市民参画・協働推進委員会の開催(13人、5回)、職員チーム会議の開催(16人、4回)
参画の予定や結果、参画ガイドラインの周知
(公表5回、参画予定5件、実施公表8件、その他1件)



2 市民と市との協働指針の運用 0予算



3 広聴の実施 32千円

(内訳)市長へのはがき印刷代 26、市長へのはがき郵送料等 6
・市政懇談会(WS開催を含む。)、まちづくり懇談会の実施 → 対応状況を公表
・地域住民との対話の実施
・要望・陳情の受付、市長へのはがき・メールの受付
(市長へのはがき10件・メール14件、要望陳情332件、市政懇27会場639人、意見294件、まちづくり懇談会1団体、団体意見交換会8人、市長との対話93人)

4 共通経費 65千円

(内訳)消耗品費47、食糧費18